

下町河川 Tomorrow

東京都の江東内部河川流域連絡会の情報紙（会議録）

平成18年10月17日（火）

第24回（第4期第6回）江東内部河川流域連絡会を開催



水彩フェスティバルの様子
（都民委員からの報告）



会議の様子

- ・「第24回（第4期第6回）江東内部河川流域連絡会」の会議を、午後2時から約2時間半、墨田区役所12階121会議室において実施しました。
- ・都民委員14名と行政委員11名等が参加しました。名簿は6ページ
- ・主に、「江東内部河川及び沿川のイベント」と「住民ボランティア活動」、「小名木川の景観整備案」について、意見交換しました。

会議の概要

まず、行政委員（江東治水事務所、墨田区、江東区、江戸川区）から、江東内部河川や水辺に関連したイベント、住民ボランティア活動について紹介がありました。次いで、小名木の景観整備（案）についての説明が行われました。それぞれについて、行政委員と都民委員との意見交換が行われました。

最後に都民委員より、これまでに江東内部河川で実施したイベントについての報告がありました。

江東内部河川及び水辺に関連したイベント等

実施日	イベント名	河川名・場所	主催者
7月14日（金）	扇橋開門の見学会	小名木川（扇橋開門） 江東区猿江一丁目	東京都建設局江東治水事務所
9月1日（金）～ 12月10日（日）	企画展「水害をのりこえて」	墨田区すみだ郷土文化資料館 墨田区向島二丁目	すみだ郷土文化資料館
3月26日（日） ～11月12日（日）	田んぼの学校	横十間川親水公園 江東区東陽四丁目	江東区
11月17日（金） ～19日（日）	第四回江戸川区水辺の活動交流会	江戸川区タワーホール船堀 江戸川区船堀四丁目	江戸川区、（財）江戸川環境促進事業団、えどがわエコセンター

住民ボランティア活動

市民団体、区市等実行委員会主催による活動（東京都河川愛護月間関連行事）

実施日	河川名・場所	主催	概要
7月1日（土）	自然大好き「金山調節池」（柳瀬川）	金山調節池ワークショップ	市民と東京都により、外来植物の除去、水路の確保等の維持管理作業等を実施。
7月7日（金）	立会川環境美化運動	品川区、（地元町会・商店会等や東京都が協力）	河川内清掃、沿道清掃、広報活動等
7月7日（金）	目黒川クリーンアップ大作戦	目黒区を豊かな生活環境にする会、目黒区	目黒川沿道路及び河道内の清掃
7月16日（日）	第13回わくわく川清掃&川あそび（黒目川・落合川）	わくわく川清掃&川あそび実行委員会	黒目川及び落合川の清掃、川の生き物展示、川あそび、水ガキ講座等、
7月22日（土）	第6回・野川の生きもの観察会	野川ほたる村、みんなでつくる野川ピオトープの会、東京都北多摩南部建設事務所	昆虫を捕らえて観察。捉えた昆虫の解説・説明を行う。
7月30日（日）	境川クリーン作戦2006	境川緑のルネッサンス	境川及び自転車・歩行者専用道路の清掃

各区における住民ボランティア活動

名称	設立・組織概要	活動理念・考え方	主な活動
旧中川桜植樹事業（旧中川桜愛護会）	平成15年6月設立。旧中川沿川5町会（墨田区内）により組織。	桜の植樹をはじめ、旧中川の自然豊かな貴重な空間を大切に、墨田区の桜の名所となる、美しい環境づくりが理念。	・河川敷に花壇整備（ダリア植付け） ・カワツ桜植栽予定（26本）
わがまち江東きれいに活動	学校関係、老人会、個人グループ、企業等が活動。区が支援。	「自分の手で自分の環境をきれいにする。」	・公園・道路等の公共施設を週1回以上清掃
水辺のボランティア（江戸川区内のアダプト制度）*	23団体・4個人。	区民生活の基盤である土木施設での区民の自発的なボランティア活動を区民と区のパートナーシップ（共育と協働）に基づき、さらに発展させる。	・主に河川の清掃活動等

*江戸川区の土木施設でのボランティア活動としては、公園ボランティア、緑のボランティア、まちかどボランティアがある。

企画展「水害をのりこえて」に関連してお尋ねするが、ハザードマップは作成しているか。東京都では浸水予測図を作成し、ハザードマップは各区で作成することになっています。墨田区では現在作成に向けて検討しています。

江東区は「大雨洪水ハザードマップ」として作成しています。これは内水氾濫を予測したもので河川に関するものではありません。

江戸川区は作成中です。

ボランティア活動を行うにあたり、これまでの事例の中で課題があれば教えてほしい。参加者が高齢化している中で、河川内の植物の手入れに力仕事を伴うことがあることがあげられます。

ボランティア保険を紹介したり、区が負担して加入していただいたりしています。

ボランティア活動では活動回数を重ねる毎に参加者が減ってしまう。行政として新しく参加してもらう工夫を何かしないのか。

最初はがんばりすぎず小さく始めて、継続することを大切にするようアドバイスしています。また、他の団体との情報交換が励みになるようですので、ボランティア団体同士の交流会を設けています。

公園等の維持管理のノウハウを持つ東京都公園協会による講座（花守さん講座）を開設してノウハウを提供したり、相談にのったりしています。そのような枠組みで隅田川のテラスの花壇等をボランティアによる維持管理をしています。

河川敷で草花の維持管理活動をしているが、一番困るのは水等の確保である。何か対応してもらえないか。

旧中川では河川敷内、ポート教室を開いている場所に水道を引いています。これは、子供たちにポートを教えていく上でどうしても必要ということで設置していますが、事前に区に団体登録していただければ草花の維持管理にも使用できます。

河川敷内への水道の設置は、水道管破裂時に護岸や堤防の土砂が削られる等問題があるため、今まで考えていませんでした。今後、ボランティアによる花壇の維持管理等が確立されれば、設置する可能性も出てくるかもしれないと考えますが、なかなか難しい問題です。

河川という公共空間でボランティア団体等が活動する場合、その活動を認定する基準はあるのか。あるならば、どんな基準なのか教えてほしい。例えば河川の中にピオトープをつくる場合など、許可する基準や指針を分かりやすく説明してほしい。

市民団体やボランティア団体がその場所を管理している行政機関と協議して一定のルールを作り、それに基づいて参加していただいている形が一般的かと思います。

ピオトープなどは、最終的には河川管理者が責任を持って維持管理するものとして川の整備計画の中に位置づけています。最初からピオトープがほしいという要望を受けて作るものではなく、地域の盛り上がり（江東内部河川の場合）各区がどういった整備を行っていくかという姿勢を勘案して決めるものと考えています。

子供たちに水辺の体験をさせることは大切だと思うので、もっと実施していきたい。

小名木川景観整備（案）について

前回からの変更点

施設等	前回までの考え方	今回の変更点
水際部の転落防止柵	高さ 0.9m	高さは安全性を考慮し、1.1mとする。
高木植栽	水際に 15m間隔で列植	歩行性を優先し、列植は行わない。舟着場、階段、スロープ等にスポット的に植栽する。
階段・スロープの幅員	1.2m幅	幅員が確保できるところでは、1.5mとする。
スロープの設置箇所		再検討している。

自転車の通行はできない。

整備内容



階段設置箇所

- ・転落防止柵は高さ 1.1mの擬木とし、擬宝珠をアクセントとして設置する。
- ・通常の舗装はコンクリートの洗い出し舗装だが、階段部では鉄平石をはる。
- ・階段を上ったところには灯籠型照明を設置する。



舟着場設置箇所

- ・舟着場には、常夜灯を設置する。電気は護岸上にソーラーシステムのボードを設置して供給する。



石張護岸突出箇所

- ・直線的な通路となるため、変化を与えるアクセントとして整備する。
- ・突出部の上部には、エドヒガンザクラを植える。



藤棚設置箇所

- ・幅員が広いところには藤棚を設置する。
- ・藤棚の下には縁台風のベンチを設置する。
- ・ベンチは藤棚、階段と藤棚の間に1カ所ずつ設置する。

小名木川景観整備（案）についての意見交換

都民委員 行政委員

階段に手すりは設置しないのか。照明が全体的に暗いという印象を受けた。また、川（舟）から見たコンピューターグラフィックがあったが、歩道の下と水面との間についても何か工夫した方が良いのではないかと。

階段には手すりを設置します。両側には設置できないので片側のみに設置します。河川内に設ける常夜灯等の照明は演出のために設置します。これとは別に区の方で道路照明にて河道側も照らすようにしてもらっています。水際部は波返しとしてコンクリート構造として、石風の化粧を施すこととしています。

都民委員からの報告

題名	報告団体等	報告概要
水彩フェスティバル	NPO 法人・江東区の水辺に親しむ会	第7回目を9月2～3日に開催。開催テーマは「防災」と「観光」。乗船会を実施した。乗船者へ実施したアンケート結果の報告があった。
水辺の案内人リバーガイド	NPO 法人・江東区の水辺に親しむ会	小名木川の風景を案内するツアーガイドを、当会と（財）江東区地域振興会が協力して養成している。
旧中川灯籠流し	旧中川灯籠流し実行委員会	8月15日開催。約3千名近くが参加した。
第4回旧中川ふれあいレガッタ	江戸川区ボート協会	9月17日開催。ナックルフォアで2回レースを実施。
パブリックコメント	和船友の会	東京都産業労働局観光部企画課水辺構想担当宛、小名木川の護岸工事に伴う舟運活用の促進という観点から提案書を提出した。

水彩フェスティバルでのアンケートの主な結果

江東区が水門や閘門で守られていることを知っていたか？

初めて知った [1日目 42%、2日目 51%]

知っていた [1日目 56%、2日目 48%]

船（水上）からの風景をどう感じましたか？

良かった [1日目 66%、2日目 83%]

あまり良くなかった [1日目 24%、2日目 7%]

定期船があれば利用したいか？

利用したい [1日目 72%、2日目 74%]

利用したくない [1日目 20%、2日目 8%]

船（水上）からの風景についてのコメント

良かった	あまり良くなかった
<ul style="list-style-type: none"> 水辺テラスがゆったりと素敵に見えた 川の両サイドの並木、木の歩道橋が良かった 見慣れた風景とは違って良かった（他同意見数点） 歌が良かった 風が気持ちよかった 	<ul style="list-style-type: none"> 護岸の整備 ゴミが浮いてなければもっと良かった



乗船会の様子

流域連絡会の今後の予定

次回の流域連絡会は、来年1月頃を予定しています。

江東内部河川流域連絡会・委員名簿

平成18年10月17日現在
敬称略 都民委員は区別・50音順

		住 所 ・ 団 体 名	氏 名
都 民 委 員	個 人	墨田区	阿久沢 八代
		墨田区	石井 貞光
		墨田区	清道 洋一
		墨田区	田中 兼勝
		江東区	菊地 進一
		江東区	氷見 修三
		江東区	山広 勲
		江戸川区	芦田 正次
		江戸川区(勤務地)	堀内 仁之
	江戸川区	山内 久二	
	団 体	江東区の水辺に親しむ会	須永 淑子
		江東区和船友の会	松島 信治郎
		旧中川灯籠流し実行委員会	江頭 正恭
		小松川平井地区連合町会	谷川 貞夫
江戸川区ボート協会		渡辺 秀郎	
		所 属 ・ 職 名	氏 名
行 政 委 員	墨田区都市計画部都市整備担当道路公園課長	渡辺 茂男	
	江東区土木部水辺と緑の課長	荒川 順二	
	江戸川区土木部計画課長	高井 聖	
	東京都環境局自然環境部水環境課長	池田 茂	
	東京都下水道局建設部土木設計課長	神山 守	
	東京都下水道局東部第一管理事務所ポンプ施設課長	安藤 哲男	
	東京都建設局河川部副参事(河川管理制度担当)	小谷 健	
	東京都建設局河川部副参事(総合治水・低地河川防災計画担当)	大八木 猛	
	東京都建設局第五建設事務所管理課長	本間 秀生	
	東京都建設局江東治水事務所内部河川工事課長	伊藤 政行	
東京都建設局江東治水事務所水門管理課長	土屋 彰夫		

座長

連絡先：江東内部河川流域連絡会事務局（東京都江東治水事務所内部河川工事課内）

担当：吉岡、田村

TEL：03-3692-4945(直通) FAX 03-3696-6499

Email-address：S0200225@section.metro.tokyo.jp